

市西宮、鍛錬実り31年ぶり出場 春季県高校野球



県大会初戦に向け、ランニングに汗を流す市西宮の選手ら＝西宮市高座町の同校

19日に開幕する春季兵庫県高校野球大会に、市西宮が31年ぶりに南阪神地区大会を制して出場する。昨秋の地区大会優勝も45年ぶりといい、着実にチーム力をつけてきた。今冬は、意欲的にトレーニングを積んで一人一人が力を伸ばした。初戦の相手はセンバツ4強の東洋大姫路。選手たちは「やるからには勝って校歌を歌いたい」と燃えている。

7日の地区大会決勝。相手のミスを逃さず集中打攻勢をかけ、七回コールドゲームで快勝。危なげない試合運びで県大会

の出場権を得た。

徳山監督は「冬場の練習の成果がでた」と胸を張る。オフシーズンは「股(こ)関節」と「骨盤」の強化をテーマにトレーニングに励んだ。投打両面において、効率的にボールに力を伝えるために重要な個所とされ、専門的なストレッチにも取り組んだ。

投手陣には新たなトレーニングも増やした。連日の走り込みも実り、エース櫛原は地区大会24回でわずか1失点と急成長を遂げた。櫛原は「投球時に股関節の動きを感じるようになった。球威も切れも全部よくなった」と手応えを感じる。

20日の初戦でいきなり強豪校と当たるが、徳山監督は「抽選前から対戦したいと思っていた」と歓迎。矢木原主将は「誰もが東洋大姫路が有利と思っているけれど、絶対に勝ちたい」と意欲をみなぎらせている。(斉藤正志)

(4/19 10:06)

お知らせ

第56回 兵庫リレーカーニバル
 県内の「サクラ」動画、イベント情報
 【意見募集】 ひょうごの医療を問う
 県アマ将棋名人戦／囲碁名人戦参加募る
 地才地創シンポジウム／たからもの募集



連載・特集

一覧

ひょうごの医療を問う 兵庫とブラジル100年 明石海峡大橋開通10年 UP	尼崎JR脱線 遺族の3年 兵庫のメダリスト 中国製ギョーザ中毒
---	---------------------------------------

阪神・淡路大震災 防災新聞 UP 兵庫県内の選挙	兵庫人 UP コウノトリ野生復帰 教育 UP
---------------------------------------	--